基本方針	実施項目	取組項目	細取組項目	関連取組
基 本力却	夫 旭 垻日	以組填日	神球組织日 職員配置適正化による削減(職員配置適正化計画策定と実行による)	
基本方針 1 持続可能な行財政基盤の確立		総人件費の削減 公共施設の維持管理経費の削減	超過勤務の抑制(事務事業評価による各事務事業の点検による)	事務事業評価の実施 職員数の適正化
			公共施設等総合管理計画の方針実施による施設数の削減	
	実施項目 1 義務的経費の削減		古典地段等地百官建計画の力が実施による地段数の削減 管理手法の見直しによる経費の削減	建設事業の計画的実施・特末負担の軽減 事務事業評価の実施
		 繰出金の削減		受益者負担の見直し
			1寸かり云音 の見り取り医主性してよる様本山 並の 円りが	
			将来的な投資可能金額の把握	
	実施項目 2 政策的経費の抑制	政策形成のルール化	特別の対象を表現した。 特別の対象を表現した。 特別の対象を表現した。 新規事業の評価手法の構築	財政計画の策定
			新成事業の計価予法の構築 	事務事業評価の実施
				公債費の抑制
	実施項目 3 各種負担の適正化	建設事業の計画的美施・特米負担の抑制	建設事業投資計画の泉足と美行による投資的程質の抑制	
		一	各種公共料金・利用料金等の適正化	事務事業評価の実施 歳入確保の取組強化
		文価有兵担の兄追し	る他と対称。 ふるさと納税による収入の増	
	実施項目4 自主財源の確保と町有財産の活用	歳入確保の取組強化	かるさと対抗による収入の追 バナー広告等による財源確保策の検討、導入促進	
			町債権の一元管理による回収率の向上と未収金にしない取組	
			基金の効率的な運用	ハサ佐50のメササキキ笠エffタΖ弗の当じば
	実施項目5 行財政経営マネジメントの確立	町有財産の活用 	町有財産売却・貸付の促進	公共施設の維持管理経費の削減
		財政規律の確立	財政状況の分析と持続可能な財政計画の策定	
		市双市光寺によっちた	新たな予算編成手法の研究・導入(歳出の総枠抑制、補正予算の制限等)	
		事務事業評価の実施	事務事業評価による各事務事業の点検	
		施策の進捗管理	各種施策の進捗管理表の活用と庁内会議の強化 東窓東業証毎による東窓東業のよね(再想)	
基本方針 2 行政サービス・資源等の質の維持・向上 ⇒ 行政資源の効率的・効果的な活用	実施項目 1 効率的・効果的な事務事業の推進	事務事業評価の実施(再掲) 効率的・効果的に事務事業を実施するための新たな手法の導入	事務事業評価による各事務事業の点検(再掲) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
			文書の電子化	
			公用車の更新計画策定による効率的・効果的な活用	
			共同化システムへの移行	
			電子入札の検討・導入と入札参加資格審査申請の電子化	
			AI導入等による事務の効率化	
	実施項目 2 職員の意識改革・人材育成	職員研修等の実施	社会情勢の変化や現状の課題に即した職員研修の実施	表观表光 /
			職員の意識改革・政策形成能力の向上(事務事業評価の取組による)	事務事業評価の実施
			職員による業務改善提案の実施	
			職員出前講座などによる自己啓発能力の向上	//> //
		職員の働き方改革	効率的な働き方・職場環境の実現による能率向上	総人件費の削減(超過勤務の減)
	実施項目3	職員数の適正化と適正配置 効率的・効果的な組織機構への見直し	職員数の適正化計画策定と実行	事務事業評価の実施
			会計年度任用職員数の適正化(適正化計画の策定)	
	効率的・効果的な組織体制の構築 			事務事業評価の実施
			統合庁舎化への調査・研究	
	実施項目 4 民間活力の導入と広域連携の推進	活力の導入	民間の方が適している業務の検討と仕分け(事務事業評価による)	事務事業評価の実施
			町直営施設の指定管理者制度への移行の検討	公共施設の維持管理経費の削減
			町直営施設の指定管理者制度の運用の見直し	
		社会の変化に応じたサービスの導入	住民票、各種諸証明のコンビニ交付などの導入検討	
			公共料金のオンライン決済等の導入検討	
			広域行政で取り組むことでサービス向上・事務の効率化に繋がる事業の検討	
基本方針 3 多様な主体・地域が協働したまちづくりの推進	実施項目 1 自助・共助を促進し地域と行政が協 働する仕組みづくり	住民主体の地域コミュニティ組織の 構築	地域課題の共有と地域に適した組織の検討・構築支援	
			拠点施設の位置付けの見直し検討 	
		住民主体の地域コミュニティ組織の運営支援	組織運営に対する人的支援方法の調査・研究	
			自由度のある補助金制度の調査・研究(補助金一括化)	
			地域と地域、地域と行政の情報共有・協働の体制づくり	
	実施項目 2 住民参画による町政の活性化	より多くの住民がまちづくりに参画できる手法の導入	新たな住民参画手法の調査・研究	
			住民からの意見・提案聴取の促進	
			各種計画におけるハブリックコメントの活用	
			テーマを工夫した町政懇談会の開催	
		住民と行政の情報共有と住民意識の把握	住民一人ひとりの行動が地域や町の活性化に繋がる取組	
			住民意識の的確な把握(住民意識調査の実施)	
			町政の積極的な情報発信	
			職員出前講座のPR、活用の促進	職員研修等の実施